

中部防災ニュース 平成29年8月号

発行
静岡県中部危機管理局
電話 (054) 644-9104
メール chuubou@pref.shizuoka.lg.jp

洪水や土砂災害から“命”を守ろう!

7月の九州北部豪雨では、犠牲者が30名を超える甚大な被害となりました。こうした災害から自分や家族の“命”を守るには、どう行動すればよいのでしょうか?



ハザードマップ（洪水・土砂災害）を確認

市町が作成したハザードマップで、自宅、職場、学校、それらの周辺、避難場所までの経路に、どのような危険があるのか確認しておきましょう。

安全な経路で避難しよう

- ① 河川が氾濫した場合の浸水の深さ
- ② 土砂災害の起こりやすい場所
- ③ 避難場所への安全な避難経路

- ※ **ハザードマップ**は、市役所等で手に入れることができ、またホームページで確認できる市町もあります。
- ※ **避難場所や避難所は、災害種別ごとに異なります。**



内閣府HPより



焼津市洪水ハザードマップ

リアルタイムで防災の情報を入手

検索してみよう!

■ 雨・河川等の情報を手に入れましょう。

- ・ 防災情報全般を知りたいときは
- ・ 雨量や河川の水位情報、警報・注意報を知りたいときは
- ・ 国が管理する河川の水位を知りたいときは
- ・ 今強い雨が降ってところを知りたいときは

- 「静岡県防災ポータル」(静岡県)
- 「サイボスレーダー」(静岡県)
- 「川の防災情報」(国土交通省)
- 「高解像度降水ナウキャスト」(気象庁)



■ 避難情報を手に入れましょう。

避難情報は市町から発令されます。「避難準備・高齢者等避難開始」「避難勧告」「避難指示(緊急)」の3つの種類があり、同報無線や緊急速報メール、テレビ、ラジオ等で入手できます。



避難準備・ 高齢者等避難開始	避難勧告	避難指示 (緊急)
<ul style="list-style-type: none"> □ いつでも避難ができるよう準備をしましょう。身の危険を感じる人は、避難を開始しましょう。 □ 避難に時間を要する人(高齢の方、障害のある方、乳幼児等)は避難を開始しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 避難場所へ避難をしましょう。 □ 地下空間にいる人は、速やかに安全な場所に避難をしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> □ まだ避難していない場合は、直ちにその場から避難をしましょう。 □ 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、自宅内より安全な場所に避難をしましょう。(内閣府HPより)

避難行動の注意点



- ①大雨等で避難場所への移動が危険な場合は、無理をせず、近くの少しでも安全な建物(最上階が浸水しない建物、川沿いでない建物等)に避難しましょう。
- ②すでに外出が危険な状況の場合は、建物内の少しでも安全な部屋(上層階で、危険な崖や川とは反対側の部屋等)に避難しましょう。



洪水や土砂災害から命を守るためには、“自らの命は自らが守る”という意識を持つことが大切です。気象や河川に関する防災情報を自ら入手し、市町から避難情報が発令されていなくても、身の危険を感じたら、躊躇なく自発的に避難しましょう。立地条件に応じて、より安全な時間帯により安全な場所へ避難しましょう。

夏休みは親子で防災について学ぼう！

夏休みも中盤！子どもに「どこか遊びに連れてって！」とせがまれたら…。遠くに行けば渋滞するし、お金も掛かる、そもそも行くところが思いつかない…。だったら親子で楽しみながら防災について学べる施設はいかがですか？暑さしのぎでもOKです。御家族で気軽にお出掛けください！



静岡県地震防災センター

地震防災センターは、まもなく開館 30 周年！再来年度の全面リニューアルを控え、今の展示物はまもなく見られなくなります。津波シアターや地震ザブトン体験も“今のうち”ですよ！東海地震コーナーをはじめ、家の耐震化や家具の固定の実物展示などがわかりやすく紹介されています。お子さんの夏休みの自由研究のテーマを「防災」にしてはいかがでしょうか？

静岡市葵区駒形通 5-9-1 電話 054-251-7100
開館時間：9:00～16:30 休館日：月曜日・年末年始



焼津市防災学習室 “しえ～る”

焼津市消防防災センター内にある防災学習室が、今年3月にリニューアル！過去の大地震の揺れや、風水害の恐ろしさを3D映像と音・風・光で体験できるコーナーが人気です！市で活躍する最新ドローンや空撮映像を大画面で楽しめる展示コーナーもあります。

焼津市石津 728-2 電話 054-623-2554
開館時間：9:00～17:00 休館日：年末年始



静岡県原子力防災センター

富士山静岡空港の隣にある昨年できたばかりの施設です。過去の原発事故や原子力災害発生時の避難方法、県の原子力防災の取組などの紹介パネルや災害時に着用する防護服などを見ることができます。予約すれば、施設の説明を受けながら見学することができます。展望デッキから飛行機も見られますよ。

牧之原市坂口 3520-17 電話 0548-29-1111
開館時間：9:30～17:00 休館日：火曜日・年末年始等

※各施設とも入場無料です。施設案内図や開館日など詳細については、それぞれのホームページ又は電話でお確かめください。



進め！防災女子



子ども・妊産婦の生活必需品の巻

乳幼児や妊産婦のいる家庭では、災害時に必要な生活必需品が異なります。特に薬など特殊な物は手に入りにくいので、備えておけば安心です。心の準備や情報収集も大切です。家族や親戚、近隣の人達と災害時の行動について話しあっておきましょう。



非常時の必需品のポイント

- ◆定期的にチェック：季節や子どもの成長にあわせ、着替えやオムツのサイズを確認
- ◆家族それぞれの必需品を用意：処方されている薬やアレルギー対応食など
- ◆保管場所：家の中では2階や玄関近く、車の中などに分散させてリスクを回避

女性が運べる荷物の重さの目安は10kg、妊婦さんは5kgです。小さな子どもがいる場合は、荷物を持って、子どもと避難できるか、確かめておきましょう。



幼児には衣類・お菓子など軽い物と連絡先カードを入れたリュックを準備する。

健康保険証や母子健康手帳などは、すぐに持ち出せるようにまとめて保管しておく。

おもちゃ・絵本は、音の出ないものが無難。

大判スカーフは、授乳時や保温のときに使用できる。

断水に備えて肌着は多めに準備する。

注意：風呂の残り湯を断水時の生活用水としてためておく場合には、必ず溺水事故防止のための措置をとりましょう。

(出典：日本子ども家庭総合研究所「乳幼児と保護者、妊産婦のための防災ハンドブック」)

